

平成28年度行政事業レビューシート (国土交通省)

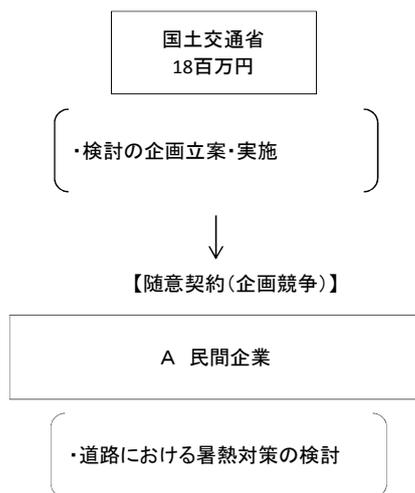
事業名	道路分野におけるアスリート・観客への暑熱対策に関する調査検討			担当部局庁	道路局			作成責任者		
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成29年度	担当課室	環境安全課 道路環境調査室			室長 高松 諭		
会計区分	一般会計									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画 ヒートアイランド対策大綱					
主要政策・施策	-			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会は最も気温の高くなる夏季に開催予定であり、本大会ではマラソンや競歩など、道路を利用した競技も実施予定である。このため、アスリート・観客への暑熱対策が喫緊の課題となっていることを踏まえ、検討を行うものである。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	「東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部」や「アスリート・観客の暑さ対策に係る関係省庁連絡会議」においてオリンピック・パラリンピックに向けた暑熱対策が検討されており、アスリート・観客への暑熱対策として、路面温度上昇抑制機能を有する舗装技術等の効果検証を実施するとともに、その結果も踏まえて、快適な環境の提供に資する道路緑化等を含む総合的な道路空間の温度上昇抑制に向けた取組の具体化を図ることとなっている。このほかにも、道路管理者が実施できる暑熱対策を総合的に検討するため、暑さ対策に資する情報提供のあり方等、道路分野以外の動向を踏まえた対策を検討することが必要である。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求			
		補正予算	-	-	-	18	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
		計	0	0	0	18	0			
	執行額	-	-	-	-	-				
	執行率(%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	オリンピック・パラリンピックのマラソンコース等において、暑熱対策を推進する	暑熱対策を実施した道路延長	成果実績	km	-	-	-	-	-	-
			目標値	km	-	-	-	-	-	42
			達成度	%	-	-	-	-	-	-
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								<input type="checkbox"/> チェック		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	道路における暑熱対策の手引き(仮)の作成		活動実績	件	-	-	-	-		
			当初見込み	件	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込		
	道路における暑熱対策の手引き(仮)の作成		単位当たりコスト	百万円/件	-	-	-	18		
			計算式	百万円/件	-	-	-	18		
平成28-29年度予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由						
	道路環境等対策費	18	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	-	-	-							
	計	18	0							

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現									
		施策	5 快適な道路環境等を創造する									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 - 年度		
	-	実績値	-	-	-	-	-	-	-			
		目標値	-	-	-	-	-	-	-			
	経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野:	-								
		(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度		
			成果実績	-	-	-	-	-	-	-		
			目標値	-	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-	-			
(第二階層) KPI		KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度			
		成果実績	-	-	-	-	-	-	-			
	目標値	-	-	-	-	-	-	-				
		達成度	%	-	-	-	-	-				
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
-												

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	快適な道路環境等を創造するために必要な対策の検討。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	道路分野の暑熱対策全般を担う事業として国が実施することが必要。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	道路分野の暑熱対策を担う事業として必要かつ優先度が高い。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めるため、支出先は企画競争により選定予定。
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	-
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	類似業務等によりコスト水準の妥当性を確認。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	-
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	事業目的に即した使用に基づき適正に執行。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		
	所管府省・部局名		事業番号
	事業名		
	-	-	-
	-	-	-
	-	-	-
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。	
	改善の方向性	検討で得られた成果を用いて、引き続き効果的な、アスリート・観客への暑熱対策を進める。	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-	平成23年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-
平成24年度	-	平成27年度	新28-007

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



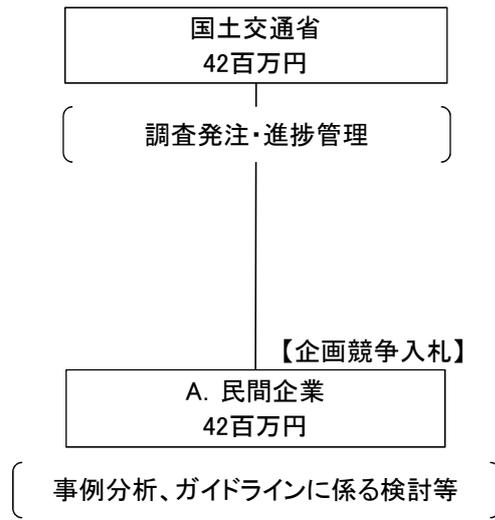
資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

平成28年度行政事業レビューシート (国土交通省)									
事業名	新たな無電柱化推進のための調査			担当部局庁	道路局			作成責任者	
事業開始年度	平成28年度	事業終了(予定)年度	平成28年度	担当課室	環境安全課			道路交通安全政策分析官 連見 有敏	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	電線共同溝の整備等に関する特別措置法			関係する計画、 通知等	無電柱化に係るガイドライン等				
主要政策・施策	国土強靱化施策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	無電柱化は、東日本大震災、熊本地震や東京オリンピック・パラリンピック開催等を踏まえ、今後は幹線道路のみならず非幹線道路も含めて、国レベルだけでなく、各地域が主体となって取り組むことで本格的な無電柱化をより一層推進し、防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興等を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	道路幅が狭い箇所等において、民地等を活用し地上機器(トランス)を円滑に整備するための手法を確立するため、事例箇所における調査、物理的制約が大きい箇所における整備手法調査、駐車場や公園等の民地等スペースを活用した面的整備の検討、条件整理及びモデルケースの検討、円滑に整備を図るためのガイドラインの作成を実施する。また、占用物件の既設管路を活用したコスト縮減策として、占用物件の管理者より活用可能な既設管路の情報を入手し通信線に加え電力線の収容に向けた課題整理、電線事業者間の円滑な調整、収容できる手法の検討を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度要求		
		補正予算	-	-	-	42	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	42	0		
	執行額	-	-	-	-	-			
	執行率(%)	-	-	-	-	-			
成果目標及び成 果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度	
	平成32年度に市街地等の 幹線道路の無電柱化率を 20%まで引き上げる	市街地等の幹線道路の無 電柱化率(国道及び都道府 県道)(平成27年度の実績 については集計中)	成果実績	%	15.6	16	-	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	20
			達成度	%	-	-	-	-	-
活動指標及び活 動実績 (アウトプット)	活動指標	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	占用している既存の管路を活用した延長(km)	活動実績	km	-	-	-	-		
		当初見込み	km	-	-	-	4		
単位当たり コスト	算出根拠	単位	25年度	26年度	27年度	28年度活動見込			
	-	単位当たり コスト	-	-	-	-			
		計算式	-	-	-	-			
平成28・29年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	28年度当初予算	29年度要求	主な増減理由					
	道路環境等対策費	42							
	計	42	0						

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策		2 良好な生活環境、自然環境の形成、バリアフリー社会の実現							
	施策		5 快適な道路環境等を創造する							
	測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度	
		市街地等の幹線道路の無電柱化率 (平成27年度の実績については集計中)	実績値	%	15.6	16	-	-	-	
			目標値	%	-	-	-	-	20	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
	民地等を活用した地上機器(トランス)を円滑に整備するためのガイドラインの作成や占用物件の既存管路の活用によるコスト削減を図ることにより、地方公共団体が管理する非幹線道路における無電柱化を推進。									
	改革項目	分野:	-	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		-	成果実績	-	-	-	-	-	-	
目標値			-	-	-	-	-	-		
達成度			%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 - 年度	27年度	28年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	-	成果実績	-	-	-	-	-	-		
		目標値	-	-	-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	道路の防災性の向上、安全で快適な通行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興に寄与		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	上記内容に寄与する事業であるほか、省庁間の調整が必要であり、国が実施することが必要		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	特に防災の向上が喫緊の課題となっており、優先度の高い事業		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は随意契約(企画競争)により選定予定。		
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-	-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	事業目的に即した使用に基づき適正に執行予定		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○	更なるコスト削減や地域のニーズに合わせた効率化について検討予定			
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-	-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-	-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する。				
	改善の方向性	検討結果を無電柱化推進のための効果的な施策として、効率的に執行できるよう努める。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	新28-0008	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)